

新潟県内液状化しやすいさマップ



地盤の液状化現象は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」でも広範囲にわたって各種施設に多大な被害をもたらし、マスコミ等を通じて広く報道されるなど、大きな関心事になりました。

北陸地方においても新潟地震(昭和 39 年)、中越地震(平成 16 年)や中越沖地震(平成 19 年)において、家屋や堤防等に多くの被害が発生しています。また、新潟県中越地方の信濃川中流域では、近年 50 年足らずの間に震度 6 弱以上の地震が 4 回も発生しており、これからも何年か後には必ず地震が発生すると言われていたことから、液状化に関する情報提供のニーズが高まっています。

このような背景のもと、北陸地方整備局は、北陸地方の地盤情報に関する豊富な知識と人材を有する公益社団法人地盤工学会北陸支部と共同で検討会を組織し、過去の液状化発生状況や地形地質等に関する情報などを加えて「液状化しやすさマップ」を作成しました。

液状化しやすさをキーワードに土地(地盤)の性質を知って頂き、自助・共助・公助に役立ててもらいたいと考えています。

ご利用にあたって

- ①このマップは、地盤の液状化という点にのみ注目し、「液状化しやすさの傾向」を示したものです。地震被害想定マップではありません。
- ②液状化しやすいとされる地形条件に着目し、周辺にある既存の地盤(ボーリング)データを参照しており、多くの推定を含んでいます。
- ③液状化対策が実施された建物など、地盤が液状化しても被害が現れない場合があります。液状化対策の有無を一つ一を区別することはできません。このマップは、あくまでも地盤の性質として、液状化しやすい傾向があるかどうかを示したものです。

表紙の写真 写真左:新潟市南区白根の中ノ口川沿いの畑に出現した噴砂
写真右上:液状化により噴き出した大量の砂で埋まった自動車
写真右下:昭和大橋への取付け道路に生じた地割れ

索引図及び目次

目次

索引図及び目次	
1章 液状化しやすさマップ	1
2章 検討フロー	11
3章 液状化Q&A	13
4章 新潟県を襲った地震 ー過去の液状化被害ー	17
5章 地盤と災害	19
6章 新潟県の平野地盤	20
7章 越後平野の生い立ち	21
《一口知識》	23
《引用・参考文献》	29

